

7月以降の新型コロナウイルス感染に関する大阪教区の対応の件 (第7次)

日本聖公会大阪教区

教役者各位

各教会の皆様へ

2020年7月4日

大阪教区 主教 アンデレ 磯 晴久

主の平和

- ① 引き続き、いのちを守り合うことに配慮しながら、主日礼拝・聖餐式（みことばの礼拝）を中心に開催してください。
- ② 教区・教会主催の集会等の再開については、今しばらく自粛をお願いします。
- ③ 外部団体の集会等の再開は、新型コロナウイルス感染症に対する注意事項を遵守することを前提に、許可します。
- ④ しかし、②と③に関して状況が教会によって異なると思われるので、教役者と教会委員会の判断を尊重致します。
- ⑤ 緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染症に対する注意は引き続き大切です。新型コロナウイルス感染症に対する注意事項を遵守しながら、今後の教会活動再開を、教区・各教会において考えて行きましょう。
- ⑥ 信徒・求道者の中には、不安、心細さの中におられる方もおられますので、声かけなどあたたかいご配慮をよろしくお願いします。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症で逝去なさった方々、療養中の多くの方々、感染の可能性を抱える医療従事者、社会福祉関係者、学校関係者、わたしたちの生活を支えて下さっている方々、経済的な困窮の中にある方々、居場所を見失っている方々ことなど日々憶えて祈りましょう。

以上